

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371501020
事業所名	グループハウス愛

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2) 毎年恒例化している中学生の体験学習の訪問や自治会加入で町内大掃除に利用者や管理者で参加している。毎月第3木曜日の夜に事業所で認知症ケアサポート医である協力医が地域の方にも参加してもらい、口腔ケアや薬について講座を開催している。通りがかりに認知症の相談やボランティアの問い合わせに立ち寄られることがあるが丁寧に対応するようにしている。近所からホテル鑑賞会の誘いがあり、参加できない時には地域の方が水槽に入れてホテルを事業所へ持ってきてくれている。散歩で幼稚園児と挨拶しあい、交流を深めている。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3) 運営推進会議は年6回開催している。利用者、協力医、家族、民生委員、婦人会部長、事業所職員が参加し、いきいき支援センター職員は年1回の出席がある。行事の案内や報告、利用者ケアの意見交換、ボランティア状況、消防訓練について次回に向けて話し合い、意見をもらっている。民生委員からの提案で、今年度から社会福祉協議会の婦人部から盆踊りの指導のボランティアを新たに取得している。	評価	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4) 市主催の研修は事業計画に沿って職員の経験年数や段階に合わせて、市介護職認知症実践者研修や市認知症リーダー研修に参加している。区が主催の認知症市民講座に施設長が講師として参加している。名古屋介護ネットを利用して解決することが多いが、職員が感染症にかかった時など市役所に問い合わせをしている。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6) 利用者の意見は日常の話に耳を傾けたり、表情や仕草から組み取るようにしている。家族からは、訪問時や介護計画作成、1か月に一度預り金の補充の時に意見や要望を聞く機会を設けている。運営推進会議では家族が1年毎に持ち回りで出席して意見をもらって話し合いを進めている。意見の反映するために話し合われた内容は朝の申し送りや連絡ノート、会議で職員に伝えている。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。		○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。		○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。		○
総合評価			○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	×	○	×	○	○				